

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日 更新

事務事業名		水援隊活動事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり					所属部	総務部	課長名
	施策	10	水環境の保全					所属課	環境衛生課	担当者名
	施策の柱	30	水質の浄化					所属班	環境衛生班	(内線) 1144
予算科目		会計 一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10209	根拠 法令	合志市の河川を美しくする条例		成果優先度評価結果 ⑦
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ～ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		コスメ減優先度評価結果 ⑥			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成4年、合志市の河川を美しくする条例の施行に伴い開始した。水援隊員による河川の水質及び河川環境の監視、水援隊会議、水援隊研修を実施している。
【業務の流れ】	水質検査、測定結果の公表、開催通知、会議の開催、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務
【主な予算費目】	報酬、旅費、需用費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO) 水援隊による河川の水質及び河川環境の監視水援隊会議、水援隊研修の参加、会議開催通知、会議の開催水質検査、測定結果の公表、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務、会議開催回数 2回	新規・拡充区分 28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 水援隊による河川の水質及び河川環境の監視水援隊会議、水援隊研修の参加、会議開催通知、会議の開催水質検査、測定結果の公表、研修会参加、年報酬・費用弁償の支払い事務などを行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア 会議開催等回数 イ	(単位) 回 予算の主な増減の理由 水質検査用パックテスト消耗品費の増。
②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 河川数 イ	(単位) 本 ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア 河川の事故数 イ
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 河川の事故が発生しないことが重要であり、成果指標を「河川の事故数」とし、目標値を「0回」と設定した。	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア	回	回	2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア	本	本	4	4	4	4	4	4	4	4
③ 成果指標	ア	回	回	2	1	0	1	0	0	0	0
投 入 量	事 業 費 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円	370	310	331	315	342	342	342	342
		(A) 事業費計	千円	370	310	331	315	342	342	342	342
		(A)のうち指定経費	千円	250	250	250	250	250	250	250	250
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	5 175	4 110	5 250	0 0	5 250	5 250	5 250	5 250
		(B)人件費計	千円	697	438	996	0	996	996	996	996
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,067	748	1,327	315	1,338	1,338	1,338	1,338

事務事業名	水援隊活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 道路・水路の油流出事故はあったが、河川までの油流出事故にはならなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】 ⇒【原因 ↗】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 目標値は「河川の事故数」としているが、予測困難な面もあるが事故が発生しないことが重要であり目標達成に努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】 ⇒【理由と対策 ↗】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 河川の監視・事故の現状に関する研修等は、職員の知識向上の余地がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 条例で定められた報酬額である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 市内の全ての河川を対象としており、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 会議開催通知・会議資料作成・会議開催に伴う事務であり適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】 ⇒【理由 ↗】

3 評価結果の総括 (C H E C K)

平成27年度は、水援隊員による河川の水質検査等を実施し河川環境の監視に努めた。また、水援隊研修への参加、会議を開催した。

4 今後の方向性（事務事業担当課題）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成 果	向 上	コ 料		
		削 減	維 持	増 加
成 果	向 上			
維 持				
低 下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策